



第20号  
 発行 令和2年3月31日  
 豊山町ボランティア連絡協議会  
 事務局 社会福祉法人  
 豊山町社会福祉協議会内  
 〒480-0202 西春日井郡豊山町大字  
 豊場字諏訪270番地



「豊山町ボランティア交流会」 令和元年度は稲沢市で開催されました。



豊山町ボランティア連絡協議会登録団体



令和2年3月31日現在

	サークル名	会員数	活動内容
1	音訳サークル 虹の会	8	広報録音、視覚障がい者と交流
2	読みきかせグループゆめっ子	12	絵本の読み聞かせ、手作り人形劇、大型紙芝居
3	手話サークル 豊友	16	聴覚障がい者と交流、手話通訳奉仕など
4	豊山町赤十字奉仕団	60	福祉や災害等へのボラ活動、講習
5	とよやま点字友の会	11	視覚障がい者との交流、本や広報の点訳と実践教室の参加
6	豊山町母子寡婦福祉協議会	24	行事ボランティア
7	ふれあいいきいきサロン	7	いきいきサロンの開催
8	㊦とよやま	2	聴覚障がい者への支援、OHP、敬老会の手伝いなど
9	すずらん	15	行事ボランティア、福祉実践教室での車いす指導
10	おもちゃ病院	2	乳幼児のおもちゃ修理

令和元年度をむかえ

会長 長島 記子

新しい元号「令和」となり今年度もボランティアの皆様を支えられ役目を終えられる事に感謝しております。

私が、ボランティアを始めた頃を思うと時代の流れと共に、ボランティアの形やあり方など変わりつつある気がしますが、人それぞれ「誰かの為に、何かをしたい」という思いは、変わらずあり続けるものだと思います。私は点字ボランティアをしています、点字を作る事が楽しくて、自分が楽しいと思える事で目の見えない方の役に立てる事って素晴らしいと感じています。

最近では他市町村でも高齢化や人手不足、働く女性が増え、豊山町でも悩んでいる団体さんが多いように感じます。ご自身のライフスタイルにあわせながら、楽しくできるボランティアをさがしてみても、いかがでしょうか？

ボランティアしませんか？

豊山町ボランティア連絡協議会は一緒に活動して下さる仲間を募集しています。  
 何かやってみたい！ボランティアについて知りたい！  
 などどんな相談でも大丈夫です！  
 お気軽に社会福祉協議会までお問い合わせください！  
 ☎0568-29-0002

令和元年度事業報告

- 6月29日 東尾張ブロックボランティア集会（東郷町開催）
- 9月8日 健康・福祉フェスティバル
- 1月17日 豊山町ボランティア交流会  
 下水道科学館・明治工場見学(稲沢市)
- 3月 車輪第20号発行  
 豊山町ボランティア連絡協議会リーダー会（年5回）



## 東尾張ブロックボランティア集會に参加して

音訳サークル虹の会 齋藤 由紀子

令和元年度東尾張ブロックボランティア集會が、6月29日、東郷町で開催されました。今年も、誰でも楽しくボランティアがテーマでした。

9市2町から、200名以上が集まり、交流、親睦を通じ情報交換を行います。午前中は講演会。昼食をはさんで、午後は交流会を行いました。講演は、東郷町施設サービス(株)。健康づくりを事業として展開している、東郷町を中心に、介護予防教室、幼児の体力づくりなどを行っているそうです。午後の交流会は、ボッチャ・カローリング・体操・歌声ひろば・ハンドマッサージ・フォークダンスに分かれて行いました。私はハンドマッサージを体験しました。偶然にも豊明市の音訳ボランティアの方とペアになり、音

訳の話をしながらハンドマッサージをすることができました。今年度の交流会は、ボッチャ・カローリングなど、日頃直接体験することの少ない内容もあり、参加者も楽しめたのではないかと思います。有意義な一日を過ごすことができました。



## 福祉実践教室に参加して

手話サークル豊友 加藤 妙子

まだ残暑が厳しい9月11日、小学校の福祉実践教室に手話サークル豊友のアシスタントとして参加しました。ミニ講義では講師の聴覚に障がいのある人の生活で困ること、不便なこと、又みんは自然に耳から入ってくる言葉を覚えて自然に話ができるが、聞えない人は言葉も音も入ってこない等々の話を手話通訳を介して児童達は一生懸命聞いていました。聴覚障がい者とのコミュニケーションの方法についての口話・身振り・筆談・空書・指文字・手話等には児童達からも「知っている」と手があがりました。口話体験から始め、先生、児童の順に声を出さず単語を言ってもらい、口の形を読みとる難しさを実感してもらいました。身振り体験は先生に身振りで表現してもらい児童

達がそれが何かを答える。次は児童達同士で表現し何の身振りか答える。口話よりはわかるようでした。手話の体験は日常でのあいさつ、短い会話を講師が指導し、一緒に表現しました。質疑応答では聞きたい事や知りたい手話にたくさん手が上がり、講師の表現する手話に児童



## 健康福祉フェスティバルに参加して

読みきかせグループゆめっ子 青山 千夏

達は興味津々で同じように手を動かしていました。皆の知りたいたい手話は算数から理科等、教科目まで広がりました(笑)今までに手話歌を覚えたり、テレビ等で手話を目にしているのか児童達の手話への関心の高さを知り、嬉しく思いました。私達「手話サークル豊友」は健康・福祉フェスティバルにも参加し、手話コーナーを設け、少しでも手話に親しんでもらえるよう、毎年内容を工夫して簡単なあいさつや会話等の手話体験をしてもらっています。又聴覚障がい者の背景を知ってもらい手話を学ぶ機会を増やすなど、ボランティア意識を高めています。

令和元年九月八日、「とよやま健康・福祉フェスティバル」が開催されました。数日前に台風が発生し、進路次第では中止になるかもしれない...という不安をよそに、よく晴れた暑い一日でしたが大勢の方でにぎわう、楽しい一日になりました。

私達、読みきかせグループゆめっ子は、毎年この健康福祉フェスティバルで人形劇の公演をさせていただいております。今年の演目は「ゆめっ子の赤ずきん」でした。ゆめっ子の人形劇は元の物語を踏まえて、ゆめっ子オリジナルの台本を作っています。というのも原作のままでと登場人物が多かったり、舞台の性質上どうしても表現できない場面があったりするので、私達でできること、作れることに変える必要があるからで

す。その台本や人形、舞台装置などはメンバー全員で手分けしながら作っています。そうして出来上がった台本にそって練習をし、動きやセリフなどを変更したりしながら、一つの作品をつくりあげています。

もたくさんの方が見に来てくださいました。小さい子たちも人形たちを一生懸命見てくれて、お話も聞いてくれて、「面白かった!」というお声もかけていただき、メンバー一同大変嬉しく思いました。

それから、部屋の飾りつけやお客さんの誘導、お見送りの時のお土産渡しなど、ゆめっ子メンバーの手が回らないところでボランティアの中学生のお二人にとても助けていただきました。フェスティバル全体でも大勢の中学生ボランティアは大活躍でした。この健康・福祉フェスティバルはボランティアの経験ができる良いイベントだと思います。こういう機会にボランティアに興味を持ち、参加する人がもっともっと増えることを願います。

最後になりましたが、健康・福祉フェスティバルに携わったすべてのみなさまに感謝致します。ありがとうございました。

